

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社小糸製作所 豊田開発セン	階数	地上3F
建設地	愛知県豊田市鴻ノ巣町二丁目12-30	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	236 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年6月18日
敷地面積	10,498 m ²	作成者	茂木 伸介
建築面積	1,722 m ²	確認日	2018年6月18日
延床面積	4,907 m ²	確認者	山下 悟志

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.4 ★☆☆☆☆

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: #DIV/0!

③上記+②以外の: #DIV/0!

④上記+: #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 3

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境, 温熱環境, 光・視環境, 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.4

機能性, 耐用性, 対応性

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.0

生物環境, まちなみ, 地域性・

LR のスコア = 2.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

建物外皮の, 自然エネ, 設備システ, 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

水資源, 非再生材料の, 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.1

地球温暖化, 地域環境, 周辺環境

3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">N.A</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.4</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} + \text{附属物面積}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

みんなの環境活動を応援しています

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

株式会社小糸製作所 豊田開発センター立体駐車場棟

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				N.A
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00	2.4
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	2.1	0.22	1.0
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.37	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社小糸製作所 豊田

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 認定駐車場である為、開放性の高い建物となっている。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 評価対象外
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建築基準法で定められた耐震性を有している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 自然通風、自然換気としている。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 汚染物質を含まない材料の使用に努めた。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 適正な駐車スペースを確保している。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 特になし